

1 豊川地区の概要

(1) 立地

益田市中心市街地に隣接し都市部と山間部を併せ持つ緑に囲まれた地域。面積は20.03k㎡。南北に国道191が縦断している。

(2) 公共的な施設

- ・豊川小学校
- ・豊川保育園
- ・豊川地区振興センター兼豊川公民館
- ・益田川ダム
- ・大谷温泉かじか荘

(3) 人口と世帯数等

人口 913人（高齢化率 34.0%）

世帯数 373世帯 自治会数 8自治会

(4) 芸能・文化 石見神楽 久々茂社中

2 事業の趣旨

豊川小学校内にある『交流スペース』を交流拠点と位置付け、子ども、PTA、中高生、地域住民、ひいては他地域の多様な人々が集まる場を設ける事で、人の交流を活発にし、子育て・教育・地域課題等への意見交換、解決に向けた取り組みが活発に行われる事を目的とする。

3 具体的な取組内容

(1) ピザ窯づくり（小学校敷地内）

公民館長のコーディネートにより、地域の大人をつないで、ピザ窯を作成する。



(2) 交流スペース内装リノベーション

中高生地域活動グループ『とよかわっしょい』が中心となり、豊川小学校内の一室『交流スペース』の壁紙張替を含むリノベーションを行なう。



（プロに壁紙の張り方を学ぶ）

(3) 交流スペース&ピザ窯利用・イベント ア ピザ窯&ペットボトルピザ



（子ども達とピザ窯づくりの様子）

イ 『トヨカワツクリバ』

交流スペースで、小中高生がスツールやオリジナルクラス札などを作った。

ウ ウッドバーニング教室



天井を描く
小学5年生

エ 文化祭参加

地区の文化祭に中高生が出店。交流スペースを活用して、打合せを行った。



販売したピザ（石窯ピザ：150円）



オ 放課後児童クラブワークショップ

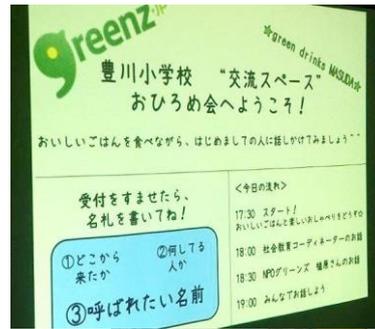


（夢の遊具作り）

カ あいあいカフェ ピザ作り



キ 交流スペース おひろめ会 園児から60代まで約80名の参加



green drinks@MASUDA（中高生が準備）

4 評価と成果

(1) 交流スペースの交流拠点化について
事前の話し合いでは、子どもだけでなく、大人の会議にも中高生が参加し幅広い年代の方々に意見をもらうなどの、巻き込み方が出来た。おしゃれな空間になりつつある。

(2) ピザ窯について

作成の過程から、地域の大人を巻き込むことが出来た。食をテーマにしたイベントでは他課との連携や、幅広い年代の方に楽しんでもらい、また料理を通じて世代間交流も図れた。

5 今後の課題と見通し

初年度としては、好調なスタートを切れたため、今後利用者をさらに広げていく必要がある。多くの方に興味を持ってもらうために、多岐にわたるイベント開催と、居心地の良い空間づくりが更なる課題である。

ハード面の充実と、地域の方の作品展、更に全国のプロフェッショナルな方をお呼びしたり、地域の方に自主的な教室の場としての利用を促したりしていく。

（文責：豊川公民館主事 石川元揮）

※人口・世帯数等は平成28年10月現在